

ときわ じんじゃ もくぞうこまいぬ
常盤神社の木造狛犬



△阿形



△阿形

本像は、前肢を踏ん張って開口して顔を上げている。材質は桐といわれているが不明であり、尾部分は別材で作成し臀部先に差し込んである素朴な造りである。

室町時代中期の狛犬が現存することは、大倉崎館との関係、大倉崎の歴史等飯山市域の中世の歴史を知るうえで貴重な文化財である。